

国際ロータリー第 2550 地区
益子ロータリークラブ



益子ロータリー会報

No. 2094 例会



2023. 10. 18(水) Vol. 15

月間テーマ《地域社会の経済・発展月間》

2023～24 年度 広木規男会長テーマ

『温故知新』



RI 会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2550 地区ガバナー 三井福次郎

司会

直井 睦 SAA

ロータリーソング ♪我等の生業♪

会長あいさつ

広木規男会長

先週 11 日の収穫祭をテーマにした例会には、大勢のお客様の参加を頂き、大盛況の中に楽しい一夜を過ごすことが出来ました。関口親睦委員長はじめ、お手伝いしてくれた皆様には、準備、後片付けまで大変ご苦勞をお掛けいたしました。ロータリーの友情と助け合う心が伺われ、ロータリーならではの想いを新たにすることができました。ただただ感謝申し上げるばかりです。

12 日は、第 2 代会長の塚本央さんの告別式がありました。塚本央さんは、創立会員であり、分区代理(ガバナー補佐)を務め、以来 30 年間永きに渡りクラブを牽引してくれました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

翌 13 日は、新米寄贈の目録贈呈式が茂木、益子、市員の各社会福祉協議会で行いました。茂木では下野新聞社、真岡新聞社の取材がありました。

そして 14 日は、RC 杯少年サッカー大会の組合せ、抽選会があり、藤原ガバナー補佐と一緒に出席し、世界ポリオデー趣旨説明と募金活動の協力依頼をお願いしてきました。

サッカー大会は、22 日午前 8:30 開会式です。みなさん参加のほど宜しくお願いします。

幹事報告

猪口又雄幹事

- * 11/12(日)地区大会～佐野市文化会館 9:00～
- * 11/29(水)4 クラブ合同例会～フォーシーズン 静風 午後 6:00～会費 4,500 円(クラブから 2,000 円負担)

プログラム委員会

萩原新也委員長

- * 10/22(日)第 38 回益子 RC 杯少年サッカー大会
- * 10/25(水)サッカー大会の振替休会

お知らせ

大島完之会員

- * 11 月 1 日から 12 月中旬まで、圓通寺境内のライトアップが始まります。是非、境内の紅葉を見に来てください。

ニコニコ BOX

佐藤広志副会長

酒井君 本日は卓話のお付き合い有難うございます。

<酒井会員、卓話ありがとうございます>

猪口君 伊藤君 大島君 小幡君 河原君
佐藤君 佐藤浩君 関口君 高橋さん
塚本君 富田君 直井睦君 長尾君 直井君
萩原君 日下田君 平野君 広木君 藤原君
松崎君 牟田君 山田君



会 長 : 広木 規男
副 会 長 : 佐藤 広志
幹 事 : 猪口 又雄
会報委員長 : 塚本 和也
会 報 委 員 : 柳 廣明
 : 佐藤 浩

事務局 : 栃木県芳賀郡益子町益子 1593
 TEL・FAX 0285-72-7474
 E-mail: masikorc@gaea.ocn.ne.jp
例会場 : 益子町上大羽 2268 益子カントリー倶楽部 2 階
 TEL 0285-72-1234 FAX 0285-72-1231
例会日 : 水曜日 12:30～13:30

「糸井哲男氏と益子と私」

糸井さんとの出会いは、昭和 31 年頃、宇女高の美術の小荷田先生達が中心となり、栃木青年美術家グループという団体が出来て、20 数名参加しました。なぜか浪人中の私が入ってもらい、その中に栃木から鈴木徹氏と糸井哲男氏があり、浪人の私と栃木の 2 人は皆に馴染めずにいきました。そんな関係で栃木の 2 人とはその後親しく付き合うようになりました。

昭和 33 年ごろ糸井さんは益子に移住し、成井さんの物置のようなところに住んでいて、壁には宮沢賢治の「雨にも負けず、風にも負けず」の詩が貼ってあり、いかにも糸井さんらしいなと思いました。当時は、宇都宮から益子には自転車かバスで行き、バスで行ったときは、平野さん宅の前の角が停留所で、城内坂を上って行くとその頃は、道端に土管があり、店にはすり鉢や味噌がめが並んでいました。

昭和 40 年頃バイクで糸井さんに会いに行くと、今のメッセに行く細い道があって、その小さな家に住んでいて、昨日から加茂田さんの窯焼を手伝っていて寝ていないんだと言っていました。その頃、糸井さんに仲人を頼まれ、栃木の定願寺という本堂での結婚式で、その他古い町のしきたりに戸惑いながら何とか務めました。

昭和 50 年頃、共販センター駐車場の奥の林の中に新居と登り窯を作ったので祝に行くと、登り窯に屋根が無いので、鉄骨とスレートの上屋を寄贈しました。そこには、子供たちを連れてよく遊びに行き、そこから山の中を登って行くと西明寺に至る道なき道を子供達は喜んで登りました。この山遊びが子供達には印象深かったようで、長男は以後益子が好きになり、濱田友緒さんと交遊が生まれて結婚式の司会を頼まれたりしました。今でも自転車仲間が多数います。

平成 10 年頃、私は念願のアトリエを益子に持って、糸井さんとの交流が深まり、町民会館で糸井さんが開いていた版画教室にお世話になったり、水墨画教室にも顔を出したりしていました。

その後、糸井さんが芭蕉の「奥の細道」をテーマに版画集を計画しているとのことで、協力しようと取材に同行しました。白河・須賀川までしか行っていなかったのが、仙台方面から 1 泊 2 日の取材旅に出かけました。

松島から一関、平泉から尾花沢の途中で温泉旅館に泊まり、一緒に風呂に入って、糸井さんの体の確りしているのには驚きました。いつも細身の飄々として痩せている人かと思ったら意外でした。

次の日は、紅花御殿や社寺仏閣、俳句の詠まれた山などを取材して帰路に着きました。その後取材旅行は、お互いの都合で行かれなく、版画集の完成も聞いていないのでそのままだったかもしれません。

平成 16 年頃、栃木市の街中に古い蔵と古屋の改造の設計を頼まれ、私の次男が担当しました。蔵はギャラリーに、古屋は版画と絵の教室に改造しました。その後糸井さんは、栃木市に制作の拠点を移したのかお会いすることもなくなりました。

平成 25 年頃からは、年賀状も届かなくなり音信不通になってしまい、栃木市に行った折、奥さんの美容室とギャラリーを訪ねてみましたが、誰も居らず、名刺を置いてきましたが連絡もありませんでした。今年に入って、糸井さんが一昨年亡くなったことを知らされ、愕然としました。

私は糸井さんのお陰で、益子に興味を持ち、益子と長いお付き合いを頂き、アトリエも持って絵描き三昧の生活をしております。

そして、10 数年前に平野さんの紹介で益子ロータリークラブのメンバーに加えて頂き、こうして皆様とお付き合いを頂いております。あと何年生きられるか分かりませんが、もう暫くのお付き合いをお願い致します。